



呼吸器内科からのメッセージ

～呼吸器内科を目指すなら、基礎と臨床の二刀流～

コモンかつ重要で、多様性に富み、加齢関連疾患が多いため、高齢化社会における呼吸器内科医に対する社会的ニーズは増加の一途です。

呼吸器内科学を専門とする実力ある内科医を育成するために、当科の指導医は、臨床と研究の両面において若手を育てる意思を持って教育しています。特色ある4つの附属病院と、日本でも有数の専攻医連携病院での研修を通じて、実力ある呼吸器専門医となる指導体制と研修システムを確立しています。

卒後6年目には、正式な医局員となり、さらに臨床医として経験を積む、あるいは大学院進学の道があります。臨床であれば、附属病院、あるいは、呼吸器専門病院やがんセンターで研鑽を積みます。大学院卒業後は、海外留学の道があり、アメリカやヨーロッパへ留学しております。これらの研鑽によって、呼吸器疾患の中でも特に自分の得意とする分野を見出すことができるでしょう。

リサーチ・マインドを持った臨床医、呼吸器内科専門医として社会で活躍する医師を育成することを使命と考えています。

呼吸器内科 診療部長 桑野和善